



かけはし

氷見

| 広 | 報 | 誌 |

KAKEHASHI

HIMI

患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

TOPICS ● トピックス

病院長新年のご挨拶 教育研修棟完成(竣工式)

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL



寒ブリ(写真提供:氷見市観光協会ホームページより)

CONTENTS ● もくじ

TOPICS	病院長新年のご挨拶	P.01
	教育研修棟完成(竣工式)	P.02
	松井先生の診察室から	P.03
	病院★ニュース	P.04
	診療コラム	P.05
	病院からのお知らせ掲示板	P.06
	まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

病院長新年のご挨拶

明

けましておめでとうございませす。皆さまには気持ちも新たに新年をお迎えのことと思います。今年1年が健康で幸多き年でありませうお祈り申し上げます。さて、氷見市民病院は、金沢医科大学が指定管理者として病院の管理運営を担当して以来、今年4月から7年目に入ります。平成20年4月に病院の診療を開始して以来、地域の皆さまに信頼され、患者さん中心の安全で質の高い医療を提供するという病院理念を実践するために、医師及び看護師等医療スタッフの充実や診療体制の整備に努め、平成23年9月には待望の新病院が完成稼動し、さらに昨年12月には教育研修棟が完成し教育研修機能を整備いたしました。教育研修棟の概要はこの紙面でご紹介しておりますが、地域の中核病院として、また大学の附属病院として、地域医療を担う有能な医師、医療スタッフを育成する施設として活用したいと考えております。また、開業医の先生方との連携をさらに推

進するということで、氷見市医師会事務局に同居していただいております。

当

院は、地域に根ざした病院作りという観点から、病院の医療資源を出来るだけ地域に提供することを目的に多くの行事を実施しております。

昨

年の関連する主な病院行事を振り返りますと、昨年5月から11月まで一般市民の方々を対象に「健康づくり教室」を開催し、104名の多くの方々に参加をいただきました。また8月には、一昨年に引き続き、夏休み親子ふれあい医療フェスティルを開催しました。小中学生約70名がとてもしきいきとした表情で医療体験を行い、参加したご父兄にも非常に好評を得ております。11月には北陸がんプロ市民公開講座を開催いたしました。特別講師として「橋本五郎」読売新聞特別編集委員と「辻政彦」富山県立中央病院名誉院長をお招きし市民や病院職員など約200名が受講されました。同じ11月には富山県の原子力

防災訓練が実施され、

氷見市の一部が石川

県志賀原子力発電所

の30km圏内というこ

とから、当院で被爆ス

クリーニング検査と除

染訓練を行い、参加者全員が真剣に災害対策に取り組んでいます。

今

年は7年目ということ、これまで以上に医療レベル、患者対応、医療の安全性、地域医療連携など

すべての面で工夫を凝らしながら、更

に大きく飛躍をして行くための再点

検及び再構築をしていか

なければなりません。本

院の理念であります「医

療人としての研鑽に励み、

患者中心の医療を実践す

る」ことを忘れず、全職員

が努力を重ねて、氷見市の

中核病院としての役割を

担っていく所存です。皆様

のより一層のご支援ご協

力をお願いいたします。



最高経営責任者・病院長
高島 茂樹



教育研修棟完成 竣工式

教育研修棟は平成25年11月30日に完成し、平成25年12月6日に竣工式が行われました。平成20年4月の開院当初は常勤医師数が28名でしたが、現在は46名に増員され研究室や医局が非常に手狭となったこと及び、教育研修の面では初期臨床研修医や看護実習生などの臨床実習の受け入れや、平成26年4月からは金沢医科大学医学部5学年生の臨床実習が1年を通して実施が計画されるなど、大学の附属病院として、地域の中核病院として地域医



療を担う人材育成と教育研修の施設整備が必要となり教育研修棟が建設されました。

この教育研修棟は、病院西側に隣接して増築され1階は救急車の搬送患者の受け入れ施設や駐車場、2階は合同カンファレンス室、職員図書室、医局カンファレンス室、医療安全対策部、研修生仮眠室、氷見市医師会事務局、3階は教授・准教授等の研究室、臨床研修医室が設置されました。氷見市医師会事務局に入居して頂いたことで氷見市内の開業医と当院の医師が直接、間接的に交流することで病診連携が益々推進されることが期待されています。

竣工式では、氷見市、氷見市議会、金沢医科大学関係者約60名が出席されました。初めに本川祐治郎氷見市長から施主としての御挨拶があり、続いて、学校法人金沢医科大学 竹越襄理事長、高島茂樹氷見市民病院最高経営責任者、病院長の挨拶があり、その後来賓の堂故茂参議院議員（代理）数田栄治秘書、および島久雄氷見市議会議長からそれぞれ祝辞をいただきました。

教育研修棟 鉄骨3階建て

- 1階 ● ピロティ
 - 2階 ● 医局カンファレンス室 ● 研修生仮眠室 ● 医療安全対策部 ● 職員図書室 ● 合同カンファレンス室 ● 氷見市医師会事務局
 - 3階 ● 医師の研究室 ● 臨床研修医室
- (カンファレンス室＝症例検討会や研修会、学生の講義・意見交換などに使用)



図書室



合同カンファレンス室



3階医師研究室



松井先生の
診察室から

歯科口腔外科准教授

松井 俊明

TOSHIAKI
MATSUI



◆埋伏歯

粘膜の下や顎骨内に埋まっている歯を埋伏歯といい、その多くがいわゆる「親知らず」です。

虫歯になったり、この歯が原因で周囲組織に炎症を起したりするような場合は、抜歯が必要となりますが、恐怖心が強い・麻酔をすると気分が悪くなるなどといった患者さんに対しては、静脈

内鎮静法下(お薬で眠ってもらう方法)で抜歯を行うこともあります。

◆腫瘍

顎顔面領域の軟組織や顎骨にできる腫瘍にはエナメル上皮腫・歯牙腫・線維腫・血管腫などの良性腫瘍と癌腫(舌癌・歯肉癌・口底癌など)・悪性リンパ腫・唾液腺癌などの悪性腫瘍があります。

この領域の腫瘍の治療においては咀嚼ものを噛むこと・嚥下(ものを飲み込むこと)・

構音などの機能障害や審美的障害などを考慮する必要があります。腫瘍切除後には機能的・形態的再建手術が必要な場合もあります。

◆嚢胞(のうほう)

内部に液体や固形物を含む袋状の病巣を作る良性疾患で、歯根嚢胞・含菌性嚢胞・術後性上顎嚢胞などの顎骨内に生じる嚢胞と粘液嚢胞・頬皮嚢胞・頬表皮嚢胞などの軟組織に生じる嚢胞があります。

基本的に摘出などの外科治療を行います。基本的には、歯の治療をしてから外科治療を行う場合もあります。

◆外傷

外傷の原因としては転倒・交通事故・スポーツなどがあり、顔面皮膚や口腔内粘膜などの軟組織の損傷だけでなく、歯の損傷や上顎骨骨折・下顎骨骨折・頬骨弓骨折などの硬組織の損傷が多くみられます。この場合、口が開かない・噛み合わせがずれるなどの機能障害が生ずることがあり、外見の修復だけでなく、噛み合わせなどの機能回復を重視した治療が必要となります。

◆顎関節疾患

顎関節の疾患として多くみられるものに顎関節症があります。顎関節症は顎運動時の疼痛・開口障害・関節雑音などの症状を呈する疾患で、口腔内にスプリント(マウスピース様の治療器具)を装着したり、顎関節腔への注射や洗浄

などの治療を行います。また顎関節脱臼(あごがはずれる)も比較的多くみられ、基本的には徒手的に整復しますが、習慣的に脱臼を繰り返すような場合には外科的な治療を行うこともあります。

一般歯科治療については、特に基礎疾患を有する患者さんの歯科治療に重点をおいて診療を行っており、紹介・逆紹介を通じて開業医の先生方との病診連携に努めています。また、総合病院内の診療科として、入院中の患者さんの歯科治療や口腔内清掃などの口腔ケアを行い、QOLの向上に努めています。今後は開業医の先生方と連携し、退院後も口腔ケアを継続していくことにより地域医療に貢献していけたらと思っています。

松井俊明★経歴

- ◎平成 6年 3月 北海道大学歯学部 卒業
- ◎平成 6年 4月 医療法人 恵佑会札幌病院 歯科口腔外科 勤務
- ◎平成13年10月 厚生連高岡病院 歯科口腔外科 勤務
- ◎平成14年 9月 氷見市民病院 歯科口腔外科 勤務



歯

科口腔外科は口腔(口のなか)・顎・顔面ならびにその隣接組織(唾液腺など)に生じる疾患を扱う診療科で、虫歯などの一般歯科治療の他、腫瘍・嚢胞・外傷等の外科的疾患や口腔粘膜疾患・神経性疾患等の内科的疾患などの診断・治療を行っています。

当科が扱う代表的な口腔外科疾患には次のようなものがあります。

平成25年度 健康づくり教室・修了式

平成25年11月16日(土)午後2時から、平成25年度健康づくり教室の最終講義と修了式が、受講生や通院中の患者、病院職員など計79名が参加し開催されました。

最終講義は高島茂樹病院長が講師を努め「がんの話」と題し胃がんと大腸がんの診察方法や治療方法などを解りやすく解説し、「口ごろの生活習慣や食生活についてお話をされました。病院長は「まず予防に大切なことは野菜など食物繊維が多く含む食物をバランスよく食べ、便秘を解消することが第一である」と説明されました。

講義終了後、引き続き修了式が行われました。全講義6回のうち4回以上受講された受講者48名に、高島病院長から修了証と記念品が贈られました。

高島病院長から「このような講義を今後続けていく事で、病院と市民の関係が密接になり、健康維持のための意識付けが図れることで皆さんの健康寿命が延びることと思います。ぜひより健康な生活を送るために役立ててください。」と挨拶がありました。

また受講した方からは、「皆さんの方が参加していて驚きました。これほど皆さんが健康について関心を持っているということですね。来年度も継



続して、市民がこの講義を受けることで長寿日本一になれるよう、また計画をお願いします。」など多くの感想が寄せられました。

第5回 広げよう ブルーサークルの輪 in ひみ 健康講座の開催

平成25年11月9日(土) 14時から、氷見市いきいき元気館において、「第5回広げようブルーサークルの輪 in ひみ健康講座」が開催されました。

この健康講座は、11月14日の「世界糖尿病デー」にちなみ、増え続ける生活習慣病特に糖尿病に関して市民のみならずに予防と治療についてのご理解を深めていただくため、毎年開催されています。

今年度は、氷見市医師会との共同開催となり、第1部では、河合内科医院 河合盛光院長に座長をお願いし、当院内分秘・代謝科科長 伊藤智彦准教授の「生活習慣病との付き合い方について(糖尿病を中心に)」の講演が行われました。講演はわかりやすい内容で、講演終了時には身近な生活について、時間を超過するほど質問が相次ぎ、熱心に聞き入られる市民の方々が目撃されました。

第2部では、南砺市医療局の医師、看護師、薬剤師をはじめ医療従事者で構成された「コントDE健康ボランティアグループ」が



「糖尿病をほつておくとの巻」等の寸劇を披露し、また、バイオリン演奏による曲あてクイズも好評で、楽しく健康講座を終了しました。

ロビーでは看護師による血圧測定や、減塩食、低たんぱく食品等の展示も行われ、参加した市民のみならずは、興味深げに説明を受けておられました。

平成25年度

富山県原子力防災訓練

平成25年11月16日(土)、平成25年度 富山県原子力防災訓練が富山県・高岡市・氷見市の主催で実施され、当院も緊急被ばく医療措置訓練の会場として、医師・看護師・放射線技師・事務員のチームによるスクリーンングや除染訓練が行われました。

この防災訓練は、石川県の志賀原子力発電所1号機で地震により全ての交流電源が失われ、原子炉格納容器内の圧力を抑制する機能が喪失し放射性物質が放出されたため、UPZ(30km)圏内である氷見市加納・上庄・久目の各地区の住民の皆様避難指示が出され、うち加納地区の住民の皆様と特別養護老人ホーム氷見苑の関係者の方々が、当院でのスクリーニングや除染訓練に参加されました。

参加された皆様からは、「体験することから、原子力に対する意識が高まった」、「実際に災害



が起った場合の対処の仕方が理解できた」や「継続して訓練を行うことが大事」などの感想が、富山県が実施したアンケートに寄せられました。

当院は、富山県から原子力災害の第一対応病院に指定されており、今回初めての参加でしたが、今後ますます地域に果たす役割の重要性が認識された訓練となりました。

※UPZ(30km)圏内とは緊急時防護措置準備区域を指し、原子力施設からおおむね半径30kmの範囲で防災対策を重点的に行う区域のこと。

クリスマスコンサート開催

平成25年12月14日(土)1階エントランスホールでクリスマスコンサートが開催されました。リンゴステーションメンバー(20歳代看護師が組織しているサークル)14名がピアノやクラリネット、ギターを演奏しながら「ジングルベル」や「川の流れるように」など9曲を歌い、入院患者さんやご家族の方々に楽しんで頂きました。また、男性看護師がハンドベルを使い「きらきら星」を演奏しました。いつもの白衣姿とはまた違う一面を見せ、やさしい音色を響かせていました。今後も患者さんの心身を癒し、早く元気になつてもらえるようなイベントを開催したいと思います。



診療コラム

M E 部

MEはMedical engineeringの

略であり、Medical Engineering Technologistは臨床工学技士のことを指します。また、臨床工学技

士の直訳はclinical engineerですので、一般的に臨床工学技士は「MEさん」と呼ばれています。

当院のME部は、輸液ポンプ、シリンジポンプなどの医療機器を管理する部門として平成20年4月1日に設置されました。発足時は、臨床工学技士3名にて実働を開始しました。



現在は、坂本滋教授を部長に臨床工学技士6名で、医療機器の中央管理と保守点検、透析装置(代謝)、人工心肺装置(循環)、人工呼吸器(呼吸)などの生命維持装置の操作、点検を行っています。

ME部の運営方針は、チーム医療の一員として医師や看護師と連携を図りながら、患者さんに迅速かつ安全な医療を提供できるように努めることです。

◎業務

中央管理機器および点検・修理

中央管理機器は、人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、病室で使用している心電図モニターなどは、使用後には必ず消毒・清掃・点検の保守管理を行います。



医療器機器点検業務

ています。また、病棟で使用している人工呼吸器の点検やトラブル時の対応を行っています。

院内関連部署への技士の出向

血液浄化センターでは、機器の操作や保守点検業務はもと

より、通常の透析療法の他に吸着療法、腹水濾過濃縮再静注法などを行っています。



血液浄化センター業務

手術部では、手術に用いられる多くの医療機器の保守管理・操作を行う他、麻酔器の始業・終了点検を実施し、安全に手術が行われるよう努めています。また、心臓手術時の人工心肺操作業務があります。

集中治療室では、持続的血液透析濾過法、人工透析療法、エンドトキシン吸着療法、補助循環(PPCS、IABP)などの治療の技術提供を行っています。

人工心肺業務



血管造影室では心臓カテーテル検査時のポリグラフィの操作(心電図、血圧波形測定)を行っています。

医療機器のトラブルなどの緊急時対応としては、24時間のオンコール体制になっています。

医療安全の推進

医療機器を安全に使用するために、医師や看護師を対象とした、輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、除細動器、患者監視装置等の定期的な研修会を開催しています。また、新規医療機器導入時も安全に使用できるように研修も行なっています。

病院からのお知らせ掲示板

● 富山県初！老人看護専門看護師
看護部主任看護師 中村 美穂

平成25年12月、日本看護協会が認定する老人看護専門看護師の認定を受けました。

専門看護師とは、実務経験5年以上(そのうち3年は専門看護分野で実践)あり、看護系大学院修士課程修了者で、日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得した後、日本看護協会の認定試験に合格した看護師です。

特定分野は11分野あり、それぞれが特定の専門看護分野の知識や熟練した技術を持ち、患者さんや家族へ質の高い看護ケアを行うことができます。

専門看護師の役割

- 1 個人、家族及び集団に対して卓越した看護を実践する
- 2 看護者を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う
- 3 必要なケアが円滑に行われるために、保険医療福祉に携わる人々とのコーディネーションを行う
- 4 個人、家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決を図る
- 5 看護者に対しケアを向上させるための教育的役割を果たす
- 6 専門知識及び技術の向上並びに回春を図るために実践の場における研究活動を行う



老人看護専門看護師 中村 美穂

金沢医科大学氷見市民病院で1人目の専門看護師が誕生しました。この他当院では、感染管理認定看護師1名、透析看護認定看護師1名が日々活動しています。

● インフルエンザ・感染性胃腸炎に注意！

冬に流行する感染症としてインフルエンザと感染性胃腸炎があります。発熱などインフルエンザを疑い受診する際は受付で熱があることを申し出てください。冬場の感染性胃腸炎の原因はノロウイルスがほとんどで、下痢、嘔吐、腹痛などの症状が起こります。感染対策として「手洗い・咳エチケット」です。「手洗い」はすべての感染防止の基本となり、アルコール擦式消毒剤を擦り込む方法と、流水と石鹸で洗う方法があります。「咳エチケット」とはマスクを着用することでウイルスが咳やくしゃみと一緒に周囲へ飛散するのを防ぐと共に、吸い込むことを防ぐこともできます。症状がある場合は無理をせず、休養しましょう。また、入院患者への面会も症状があればなるべく控えてください。



● マスク自動販売機の設置について

当院では、マスクの自動販売機を院内に3台設置しております。場所は、自動清算機横・救急外来入口横・2Fエスカレーター降り口です。マスク2枚入100円で販売しておりますので、インフルエンザなど感染予防のためにご利用ください。



● 冬季の駐車場利用について

冬季は、積雪や凍結が起こり、駐車場や構内道路での転倒や自動車事故が多く発生します。当院でも除雪作業を行い危険が少なくなるよう努力しております。患者さんも滑りにくい靴を履き、足元に十分注意し転倒に気を付けてください。また、自動車で来院される方は、雪などで視界が悪く路面がスリップしやすいので、駐車場や構内道路では最徐行をお願いします。



病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに務めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意志で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にして頂くため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。

まちかど情報

氷見訪問看護ステーションの紹介

氷見訪問看護ステーションのローガンは、「明るく、温かで、安心が持てる3A看護」です。

病気があっても、障害があっても、住み慣れた地域・家庭で安心した在宅療養を支援していきます。



※ 輪の中の看護師がお宅を訪問します。心配なことやわからないことがあればご相談ください。

エコロジーガーデン

ケンチャヤシ (ヤシ科ホウエア属)

オーストラリアアロードハウ島が原産国で、葉が大きく噴水のように広がった優雅な曲線が魅力です。葉っぱは目にやさしい濃緑色でトピカルムード満点な雰囲気があるので、これからの寒い北陸に暖かさわやかなイメージを与えてくれるかもしれません。当院ではエントランスホールなど広い空間に設置していますのでご覧いただき、寒さを忘れてみるのも良いかもしれませんね。



スポンサー企業

- (有) アカシア商会 ● サカ中産業株式会社 ● 株式会社ダスキンヘルスケア北陸
- たんぽぽ薬局 氷見店 ● 株式会社つばめ交通タクシー ● ニッショク株式会社 ● 日本海綿業株式会社 ● 株式会社日本空調北陸 ● 株式会社ビー・エム・エル ● 氷見伏木信用金庫 ● ファーマライズ株式会社 ● 北陸ココ・コーラボトリング株式会社 ● 北陸総合警備保障株式会社 ● 高岡支社 ● ホテル日航金沢 ● 株式会社山下設計 ● 米沢電気工事株式会社 ● 菱機工業株式会社 ● 株式会社ワールドシンコー

編集後記

年が明け一ヶ月がたち、少しずつではありますが春に向け日も長くなってきているように感じます。暦の上では立春ですね。ですがまだまだ寒い日が続いていますインフルエンザや感染性胃腸炎が気になる季節なので、手洗いやうがいをお忘れなく健康維持に努めていきましょう。

さて、今年は多くの日本人スポーツ選手が海外から注目をされ活躍するのがとても楽しみな年です。冬季オリンピックでも多くの日本人の活躍がとても楽しみです。

この「かけはし」がみなさんの手元に届く頃には日本選手団の活躍が多く見られているのではないのでしょうか。今年も広報誌として、様々な情報をお届けできるように広報委員一同頑張っておりますので、本年もよろしくお祈り致します。

金沢医科大学氷見市民病院 医事課 かけはし冬号編集委員 中谷 太郎

■広報誌「かけはし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。